

1999

Vol.8 No.2

社会情報 目次

試論

- 大学教育におけるゼミナールのあり方と指導者の役割
—— 1998年度社会情報学基礎ゼミナール指導の報告と今後への提言 ——
後藤 靖宏・広瀬健一郎・大谷 直史・青木 一真・加藤 克 1
- 「表現された区別」補論 田中 一 27
- 国民創出装置としての日清戦争 谷藤 康弘・井上 芳保 41
- 独居高齢者の生活・意識・コミュニケーション
—— 札幌市厚別区 A 地区の調査から ——
西城戸 誠・堀川 尚子・猪瀬 優理 59

研究会報告

- 97, 98年度の「社会情報調査の方法に関する研究会」について
井上 芳保 71
- 現代文化研究における〈文化〉概念と分析ツールに関する覚え書き
—— アニメーション『新世紀エヴァンゲリオン』を手がかりとして ——
高橋 準 75

短報

- 1998年度「社会・意識調査データベース (SORD) 作成」事業報告
新國三千代・石井 和平・是永 論 91
-

札幌学院大学社会情報学部研究業績 (1998年)